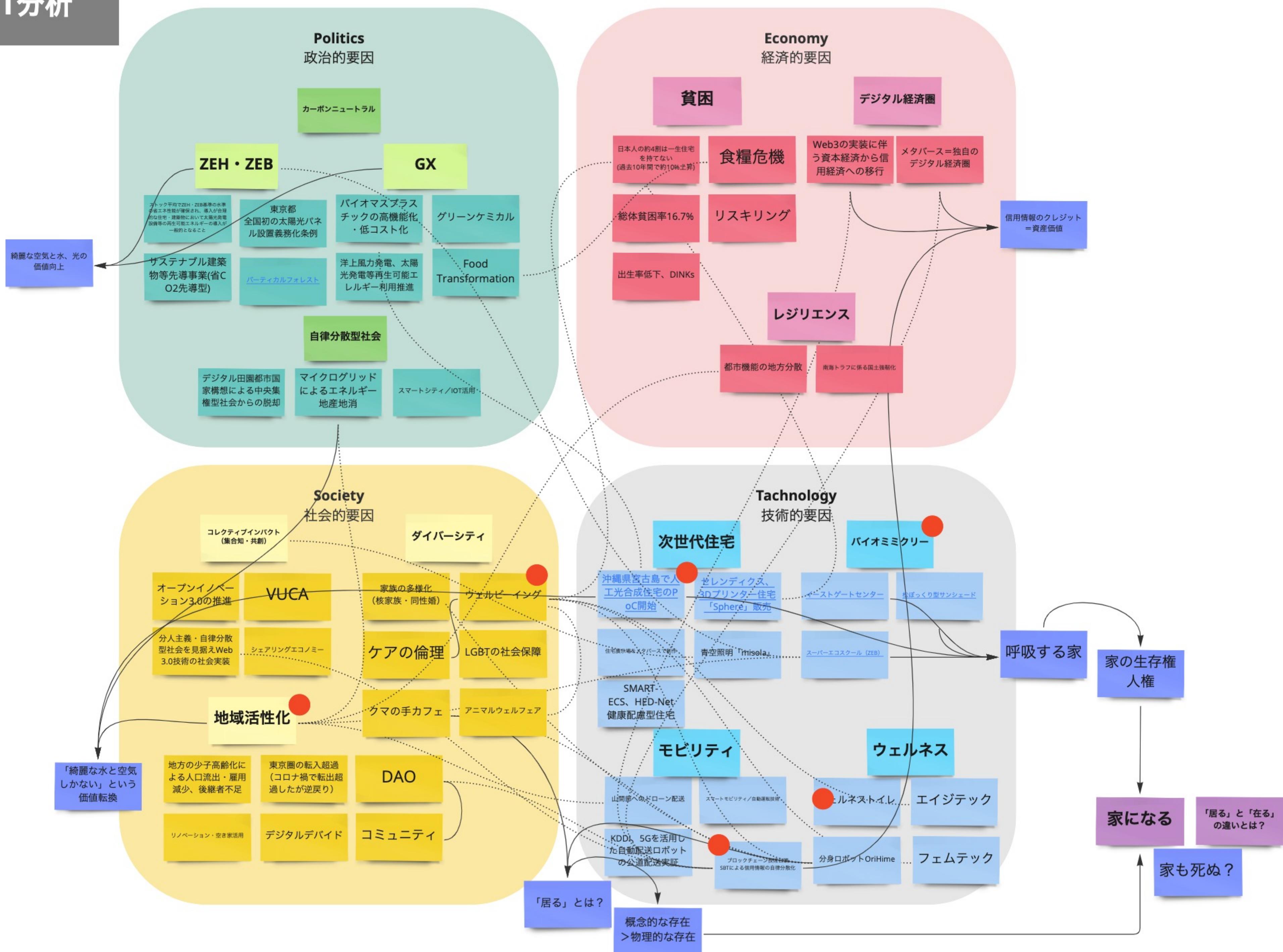


# 2065年の暮らし・PEST分析



## のあ



created by nijijourney

### 基本属性

- 誕生日：2040年7月23日（25歳）
- 居住地：長野エリア
- 出身地：長野エリア
- 独身・一人暮らし
- 職業：ドローン配送会社勤務。派遣パイロットの業務管理を行う新人エリアマネージャー

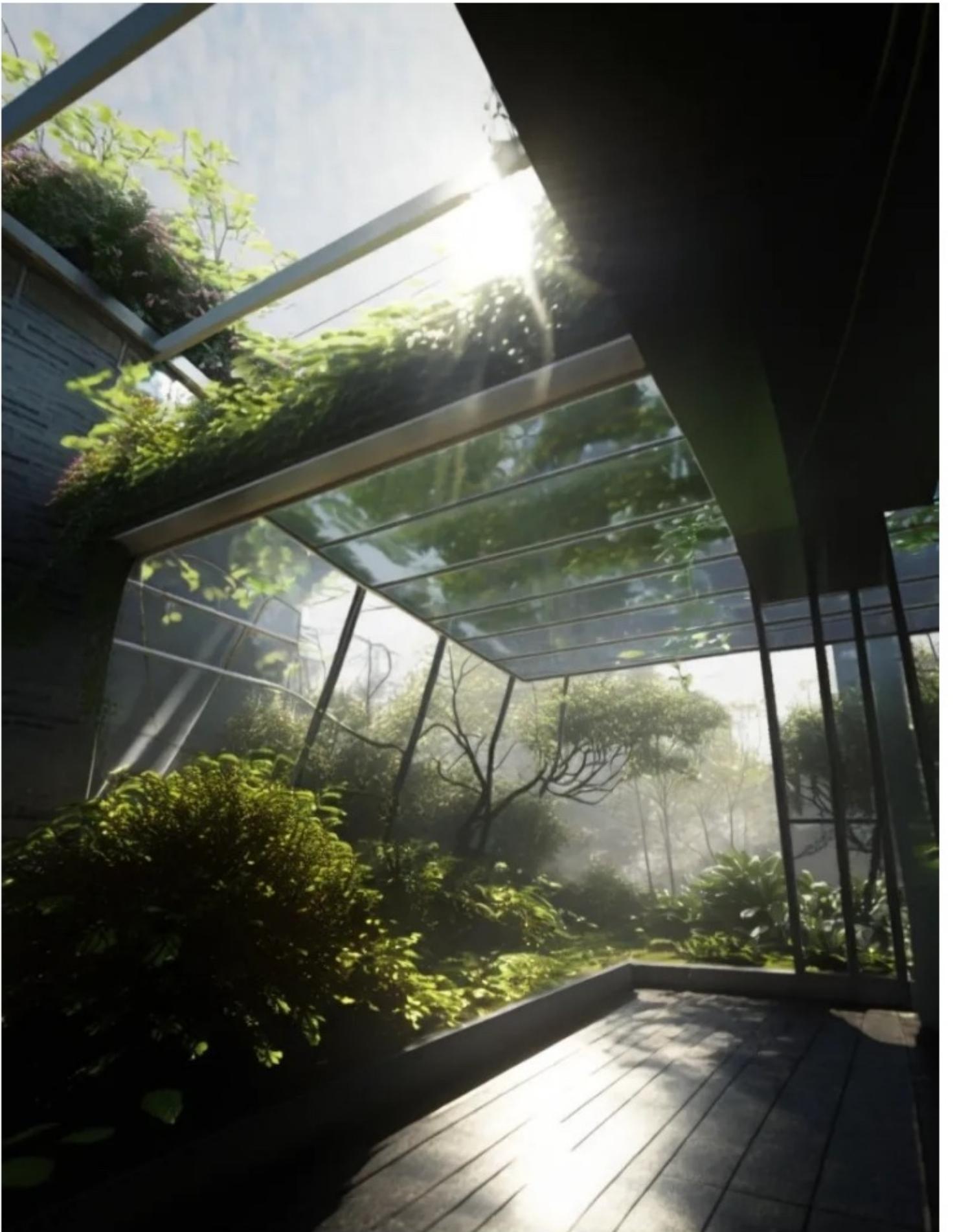
### 趣味嗜好・価値観

- 趣味：ライブ鑑賞、野鳥観察
- 好き嫌いがはっきりしており、自分にも他人にも厳しい
- 自己肯定感は低めで、うまくいかないことは自分の努力が足りないからだと思いやすい
- 人とぶつかり合うことも折り合いをつけることも苦手で悶々とすることがある
- 大勢の中にいると疲れてしまうが、ひとりぼっちも苦手
- テクノロジーは命を育むものでも奪うものもあるという二極の考えに引き裂かれそうになる時がある

### ストーリー

3歳の時に当時58歳の母親をドローンの事故で亡くし叔母に育てられる。海外の大学を卒業後日本へUターンし、事故のない安全な社会を目指し北関東エリアにあるドローン配送会社へマーケター兼派遣パイロットの統括担当として入社したが、減らない事故に無力感をおぼえ心身の体調を崩し休職。長野エリアの生家へ戻り療養中。オルとは災害時のドローン活用シンポジウムで出会い、「どんな死も等しく空虚だけど、それをどうにかして次の死を生まないための礎にしようともがくのが無力な私の仕事」という言葉に救われた。

## わたし



created by nijijourney

### 基本属性

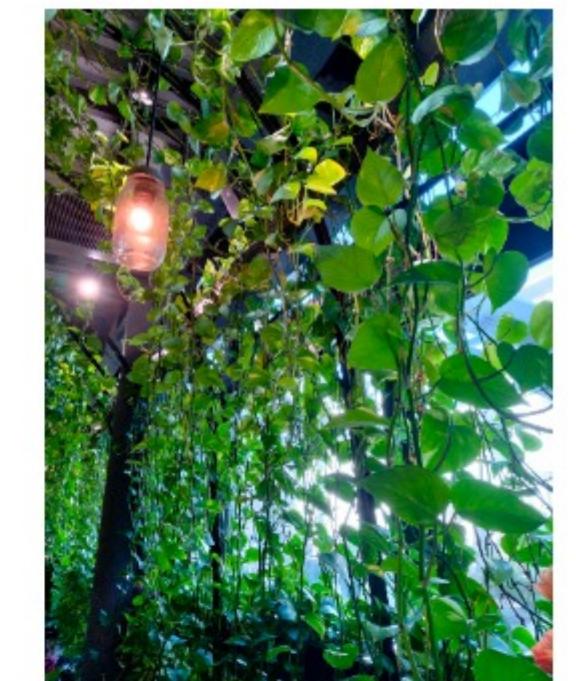
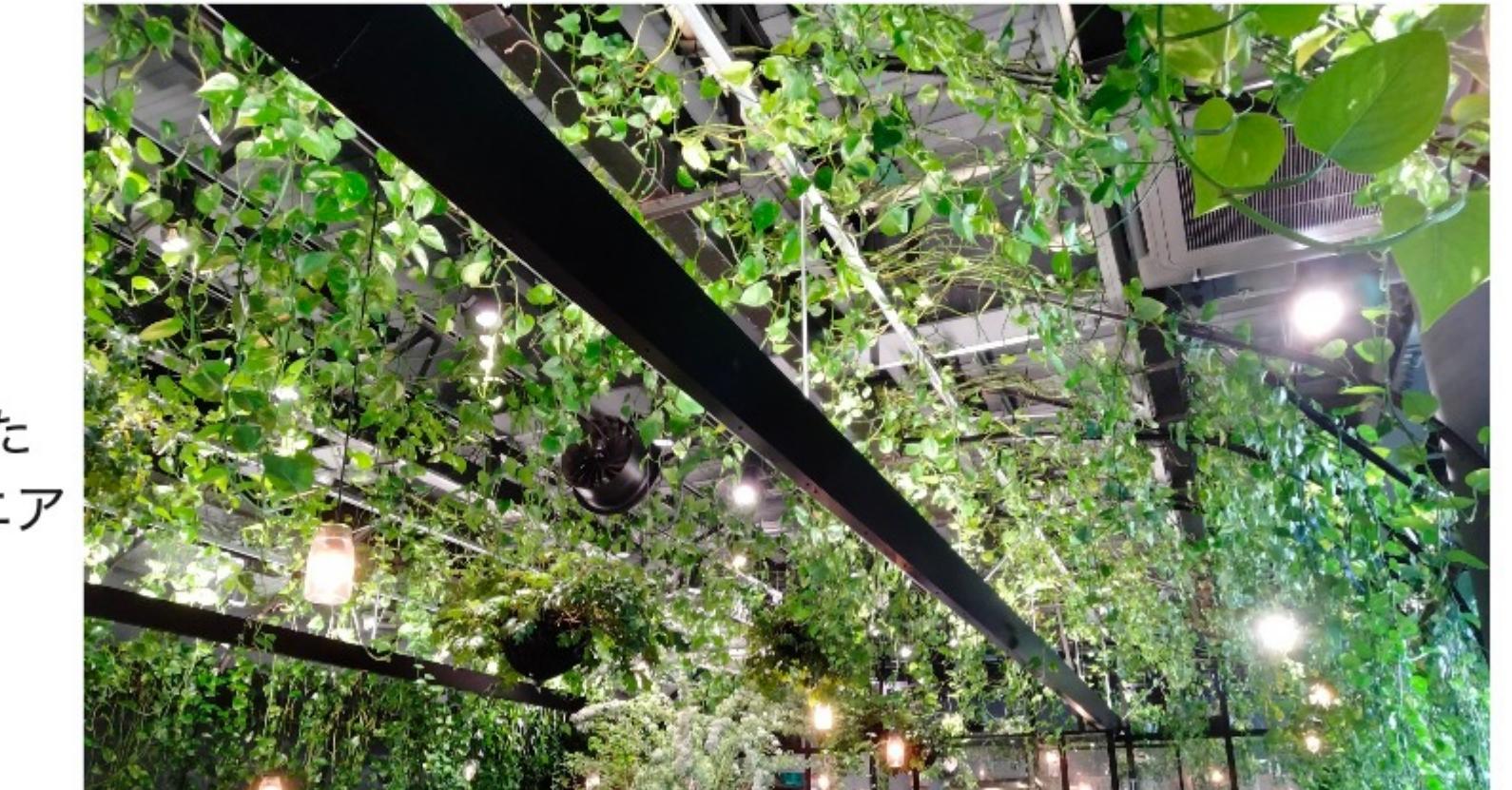
- 誕生日：1985年9月16日（享年58・築25年）
- 立地：長野エリア
- 出身地：神奈川エリア
- 2010年に癌で夫を亡くす。娘・のあと二人暮らしだった
- 生前の職業：ITスタートアップ企業のフロントエンジニア

### 趣味嗜好・価値観

- のあへの愛と罪悪感とを同時に抱えている
- 肉体や言葉がなくても伝わるものがあると信じている
- 見守ることの無力さを感じながらも、干渉することは家として正しくないと思っている

### ストーリー

55歳で仕事を早期引退し、夫の生前の精子によりなおを出産。普通の母親よりも早く死ぬことを意識し、父の故郷である長野エリアで自分の死後ものあをケアする住宅の設計を始めるが、58歳の時、ドローンの落下事故により急死。住宅は未完成となったが、亡き母の強い意志で機能が補完されているように感じられる出来事も多い。自分たち夫婦の子どもと出会いたいという希望はあったが、夫の命を奪ったのは遺伝性の難病だったため、治療法が確立されるのを待って超高齢出産を選択した。しかし、自身の身勝手な甘えでのあを孤独にしてしまったという後悔に死後も苛まれている様子である。



## オル



参考：[分身ロボット「OriHime」](#)

### 基本属性

- 誕生日：2042年2月21日（23歳）
- 居住地：東京エリア
- 出身地：北関東エリア
- 独身・一人暮らし。妹と両親が富山エリア在住。
- 職業：レジリエンスセンター旧首都圏支所・研究員。

### 趣味嗜好・価値観

- 趣味：読書、電子工作
- あの家を気に入り、修理メンテナンスをする。平成や令和初期のレトロなものが好き。
- 人間よりも小動物や虫の方が心が安らぐ
- 技術自体よりも、その先にある生身の人間の行動や感情に興味がある
- 相手を慮るあまり言葉を選べず、淡白で冷たいと誤解されることが多い
- あの繊細さや爆発するような感情に憧れを抱いている
- 不在という存在はたしかにあると思っている

### ストーリー

上級国民エリアである北関東出身だが、幼少期に南海トラフ地震で被災。居住地の被害は少なかったが両親とともに富山エリアへ移住した。震災後、なぜ当時の首都圏エリアが棄村となったのかを研究するため、東北エリアの教育機関へ進学後、附属の研究所であるレジリエンスセンター旧首都圏支所へ配属となる。のあとは、災害時のドローン活用シンポジウムで出会い、「人間だけでなくすべての動植物を傷つけない技術を」という意志に共感する。のあと会う時は分身ロボットへ入る。